脱炭素アドバイザーアドバンスト取得時の例

様式第１０（第１５条関係）

提出日を記入してください。

令和　　年　　月　　日

二 酸 化 炭 素 排 出 削 減 計 画 書

・事業所が申請者となる場合は、「氏名又は名称」欄に事業者名を、「代表者職・氏名」欄に代表者の役職、氏名を記載
・個人が申請者となる場合は、「氏名又は名称」欄のみに氏名を記載（代表者職・氏名欄は空欄）

〒　８９０－００００
所又は所在地　　鹿児島市××町○○番地△△
フリガナ　　○○カブシキカイシャ
名又は名称　　○○株式会社
フリガナ　　ダイヒョウトリシマリヤク　カゴシマ　イチロウ
表者職・氏名　　代表取締役　鹿児島　一郎
格取得者・氏名　　鹿児島　二郎
電話番号　　０９９―○○○―△△△△

担当者の直通電話を記入してください。

ゼロカーボン推進支援事業（人材育成）補助金要綱第１５条の規定により、二酸化炭素排出量の削減に向けた取組について、次のとおり３ヶ年計画を提出します。

取得した資格 ※該当する区分の□にレ印を付けてください	□　ベーシック　　☑　アドバンスト	
資格取得からの経過年数	取組の概要	取組の目標
１　年　目　※	・情報の収集、共有 ・CO_2排出量の算定、削減計画の策定	・自社の産業を取り巻くカーボンニュートラルに向けた動きについて情報収集する。 ・収集した情報を社内で共有するため、研修会を実施する。 ・自社のCO_2排出量を算定し、削減目標を設定する。 ・設定した削減目標に向け、削減計画（別紙）を策定する。
２　年　目	・削減対策の実行	・削減計画に基づき、削減対策を実行する。 ・可能な範囲で取引先とも脱炭素に関するコミュニケーションを図り、必要な要請や助言等を行う。
３　年　目	・削減対策の実行 ・削減計画の見直し	・削減計画に基づき、削減対策を実行する。 ・可能な範囲で取引先とも脱炭素に関するコミュニケーションを図り、必要な要請や助言等を行う。 ・必要に応じて、削減計画を見直す。

※アドバンストを取得した場合、１年目には、様式１２「ゼロカーボン計画書」を必ず作成してください。

計画書の作成については、環境省作成の「脱炭素経営導入ハンドブック」（https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf）などを参考にしてください。